

第168号
令和6年1月1日
発行所
一般財団法人 広島県遺族会
〒730-0036
広島市中区袋町1番21号
電話 082 (247) 1216
FAX 082 (247) 1397
発行責任者 篠原 彌之
編集責任者 佐々木 幸雄
印刷所 ㈱文化社

新年のご挨拶



一般財団法人 広島県遺族会
会長 篠原 彌之

新年あけましておめでとうございます。
ご遺族の皆様方には、令和六年の新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。



遺族会館全景

旧年中は当遺族会に対しまして、あたたかいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。
昨年は、五月に新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同様の5類感染症に移行し、完全に終息した状況とは言えないものの、少しずつ落ち着きを取り戻しており、本会の事業につきましても通常の形に戻りつつあります。
令和六年度の戦没者遺族の処遇改善につきましても、昨年十二月十四日に開催された全国戦没者遺族大会等による働きかけにより日本遺族会

が国へ要望した事項は、ほぼ満たされたものとなっております。
これからも戦没者遺児による慰霊友好親善事業の充実、特別弔慰金の受給要件の緩和(孫・曾孫への支給)、遺骨収集帰還事業の拡充強化等の諸問題の解決に向けて、日本遺族会の活動を支援していかねければなりません。
英霊顕彰運動の根幹であります内閣総理大臣の靖国神社参拝につきましては、今後、内外の批判に屈することなく、参拝していただけるものと信じております。

謹賀新年

- | | |
|--------------|--------|
| 会 長 | 篠原 彌之 |
| (副) 女性部長 | 小西 照枝 |
| (兼) 女性部長 | 上松 英邦 |
| (兼) 青年部長 | 亀井 源吉 |
| 常務理事 | 腰本 直治 |
| 同 | 久保 勤 |
| 同 | 林原 透 |
| 同 | 廣田 昭彦 |
| 同 (兼) 女性部副部長 | 山根 榮子 |
| 同 (兼) 青年部副部長 | 河本 智登里 |
| 同 (兼) 青年部副部長 | 中根 律子 |

昨年の沖縄「ひろしまの塔」戦没者追悼式は、十一月十四日に広島県主催で広島県健康福祉局社会援護課六箱 栄子課長出席のもとで実施していただきました。参列遺族二十二名が南方で散華されたご英霊を偲び、平和に対する思いを新たにすることができました。今後とも英霊の顕彰を絶えることなく継続させ、戦争の無い平和な世界実現の願いを、戦後に育った人々に伝えていくための中心的な団体として、遺族会を存続させなければならぬと思います。

遺族会も、会員の高齢化が進み、孫・曾孫会員の加入が喫緊の課題となっております。県内各遺族会の組織を継続させ、孫・曾孫も慰霊友好親善事業でご英霊の戦没地を訪問できるようにするためにも、会員一人々が孫・曾孫の協力を求めていただくとともに、一日も早く各遺族会で後継者となる青年部役員を選任していただきたいと思

います。また、ホームページについては、日本遺族会及び当遺族会実施の各種事業を紹介していますので、ご家族等の協力を得ながら是非とも活用していただきますようお願い申し上げます。

私も当面する問題を解決するため、全力を尽くして参る所存でありますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭に当たり、ご遺族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



広島県健康福祉局長

北原 加奈子

新年明けましておめでとうございます。御遺族の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

一般財団法人広島県遺族会におかれましては、創立以来、会員の皆様の強い結束のもとに、戦没者の慰霊や御遺族の福祉の増進等の各種事業を積極的に推進されるとともに、戦争の悲惨さ、平和の尊

さを次世代に伝えていくための取組をされていることに対しまして、深く敬意を表します。

昨年は、5月にG7広島サミットが開催され、世界に向けた力強い平和のメッセージが発信されました。しかし、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化や、ガザ地区の武装勢力とイスラエル軍との交戦等中東情勢の悪化により、日々、多くの人々が戦渦に巻き込まれ、尊い命が失われています。

また、我が国においては、先の大戦の終結から七十九年目を迎え、戦争の記憶の風化が懸念されているところでは、このような今こそ私たちは、数多くのかけがえのない命が失われた戦争の悲惨さや深い悲しみを、次の世代に語り継ぎ、再び戦禍が繰り返されぬよう、平和の実現に努めていく必要があると考えます。

県では、引き続き国と連携を図りながら、今日の繁栄の礎となられた戦没者の方々に深く思いを致し、戦没者の御遺族に対する援護事業の充実にも取り組み参ります。

今後とも、会長をはじめ会員の皆様、より一層の御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。年頭にあたり、貴会のみならず

の御発展と、会員の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

戦後100年に 向けた決意



一般財団法人日本遺族会

会長 水落 敏栄

ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。年頭にあたり、日本遺族会会長として、今後の展望をお伝えいたします。

本会は、二度と私たちのような戦没者遺族を出さないという固い決意のもと、昭和二十二年の結成以来、一貫して恒久平和な社会の構築を目指し活動してまいりました。

遺族会活動の根幹は、英霊顕彰と遺族の福祉向上(処遇改善)であります。戦後、占領政策によって一切の処遇が絶たれ、同時に「戦争犯罪に加担した人の家族」と白眼視された戦没者遺族が、励まし

を

あい、扶けあつて会を結成し、処遇を求めたことは当然の流れであります。遺族の決死の思いが国や関係機関を動かし、現在まで逐年改善が図られ、昨年には、戦没者等の妻に対する特別給付金（妻特給）が継続の上、増額されました。次は令和七年に最終償還を迎える戦没者等の遺族に対する特別弔慰金（特弔）が控えております。

妻特給とは、20代から30代前半の若さで夫を戦争で失った妻が、幼子と老親を抱え、一家を支えるために働き詰めだったその労苦を国が忘れないための法律であり、「国は戦没者を忘れない」とする特弔も同様に、継続しなければなりません。つまり、処遇改善も「英霊顕彰」であります。

先の大戦では310万余の尊い生命が犠牲となりました。その犠牲を忘れないこと、そしてかけがえのない存在を失った数多の人々の悲しみを伝えることが、「英霊顕彰」であり、戦没者遺族に課せられた社会的責務であると考えます。

なぜなら、私ども遺族の筆舌に尽くしがたい記憶や戦没者に対しての思いは、二度と戦争の惨禍を繰り返さないための貴重な教訓で

あるからです。そしてこの教訓を確実に次世代へ継承するために、遺児と青年部が協力して行うのが「平和の語り部事業」であり、その重要性に鑑み国の補助事業となりました。

今後、遺族会の活動は「戦争の記憶を伝承すること」に集約されると考えます。つまり、総理閣僚の靖国神社参拝はもとより、慰霊碑の維持管理や、ご遺骨の収集、慰霊巡拝、戦没者の遺留品返還事業もしかりです。

悲しみや苦しみを忘却することでも乗り越える人間にとって、記憶の風化に抗うことは、簡単なことではありません。だからこそ、800万遺族の800万通りの悲しみを多様な形態を使って、伝承してまいります。

ここに、本会は戦後100年を目指し、活動を続ける決意を表明し、その前提として青年部への組織継承の道筋をつけるべく、私は、粉骨砕身尽力することをお約束し、新年のご挨拶といたします。



遺族会の動き(予定)

令和六年二月十七日(金曜日)「予定」
常務理事会

令和六年三月七日(木曜日)「予定」

第二十九回理事会

令和六年三月二二日(金曜日)「予定」

第一九回評議員会

令和六年八月一日(水曜日)

全国戦没者追悼式団体参列

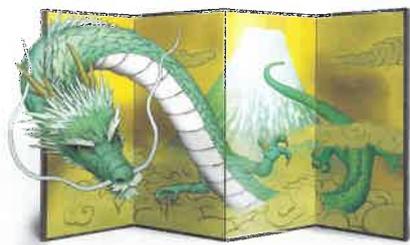
募集予定 四十名

令和六年十一月(未定)

沖繩「ひろしまの塔」戦没者追悼式

旅行日は、式典日を含む三日間

募集予定 三十名



ホームページの活用について

当会では、事業の内容を広く知っていただくために、ホームページを開設しています。会員をはじめ多くの遺族の皆様にご利用いただくことを願っています。

パソコン、スマートホンのインターネットから「一般財団法人 広島県遺族会」を呼び出し、ご利用ください。ホームページの中(HOME)に「ホームページのご利用方法」を設けました。より簡単に利用をしていただけたと思います。

沖縄『ひろしまの塔』戦没者追悼式団体参列

令和五年十一月二日、篠原 彌之会長を団長とする十九名の参列団は、広島空港を出発し、沖縄に到着後に沖縄護国神社を参拝し、那覇市内に宿泊した。

追悼式当日の十四日は、午前十時三十分から挙行された追悼式に参列した。追悼式には、沖縄県知事（代理）を始め、六名の来賓が出席された。

式典は、知事式辞を六箱 栄子広島県社会援護課長が代読された。続いて篠原 彌之団長から追悼の辞が述べられた。その後、参列者全員の献花が行われ追悼式は、滞りなく終了した。式後に参列者全員の記念撮影が行われた。

その後、十八時十五分に全員無事広島空港に到着し、参列を終えた。

一 「ひろしまの塔」の概要

昭和四十二年三月 知事、県議会議長を世話人とする「ひろしまの塔」を建設するための広島県戦没者沖繩慰霊塔建設委員会が発足
完成、除幕式

二 昭和四十三年五月 合祀者等

- ① 合祀者数 三万四千六百三十五柱
- ② 合祀者の範囲 昭和十六年十二月八日以降の、いわゆる太平洋戦争での戦没者。
- ③ 戦死者の範囲 フイリッピン 九千九百八十八柱、東部ニューギニア 九千六百六十五柱、ビルマ・インド 千四百六十二柱、沖繩・南西諸島 千二百七十一柱、ベトナム等 九百六十四柱、硫黄島 七百八十七柱



沖縄「ひろしまの塔」戦没者追悼式参列者



沖縄「ひろしまの塔」戦没者追悼式会長追悼の辞

「第七十八回全国戦没者遺族大会」

三 経 過

令和五年十二月十四日に自由民主党会館八階ホールで開催されたこの大会に、篠原 彌之会長他役員等七名が参加し、大会終了後、要望事項に対する理解と協力を要請する陳情運動を地元選出国会議員に行つた。

重点陳情先(秘書面会)

内閣総理大臣

衆議院議員 岸田 文雄氏

(内閣総理大臣官邸にて秘書官対応)

(自由民主党地元選出国会議員)

衆議院議員	区分		衆議院議員	陳情
	氏名	遺族大会		
寺田 稔氏	欠席	秘書対応		
平口 洋氏	欠席	秘書対応		
小林 史明氏	欠席	秘書対応		
新谷 正義氏	欠席	秘書対応		
小島 敏文氏	出席	秘書対応		
石橋 林太郎氏	欠席	本人対応		
畦元 将吾氏	欠席	秘書対応		
宮沢 洋一氏	欠席	本人対応		
越智 俊之氏	欠席	本人対応		

「大会の概要」

一 参加者 三四六名

二 来賓 自由民主党代表 総務会長

厚生労働大臣 森山 裕氏
 総務副大臣 武見 敬三氏
 経済安全保障担当大臣 高市 早苗氏
 遺家族議員協議会 会長 逢沢 一郎氏
 衆参国会議員 二二一名



第78回 全国戦没者遺族大会
主催 一般財団法人日本遺族会

会長挨拶 (水落 敏栄日本遺族会会長)



第78回 全国戦没者遺族大会
主催 一般財団法人日本遺族会

決議案 篠原 広島県遺族会会長



岸田内閣内閣総理大臣 (山本秘書官対応)
官邸貴賓室にて陳情

本会は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が解除されたことに伴い、四年ぶりにコロナ禍以前の規模で開催し、厳しい財政状況のなか、公務扶助料の改善、戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の継続、戦争の記憶を伝承する「平和の語り部」事業の新たな予算獲得をはじめとする厚生労働省社会・援護局提出の概算要求の完全実現を目指し、四七都道府県遺族会の代表が東京・自由民主党会館ホールに参集し、自由民主党所属の衆参国会議員の先生方を来賓に招いて遺族大会を開催した。

開会の言葉を宇田川剣雄副会長が宣し、国歌斉唱について、靖国の杜に鎮まる二四六万六千余柱のご英霊に感謝の黙祷を捧げた。次に、水落敏栄会長挨拶、来賓あいさつをいただいた後、会議に入り、田中 玉喜 日本遺族会女性部副部長(福岡県遺族連合会副会長)から意見発表が行われた。

続いて、大会宣言及び決議が満場一致で採択された。

～遺族会館入居者の紹介～

1階から2階

「LAWSON 広島うらぶくろ店」

店長 田中 直樹

コンビニといえば、LAWSON！
淹れたてコーヒー、デザート、
お弁当揃っております。
2階に広いイートインコーナー
もあります。

電話 082-298-8100



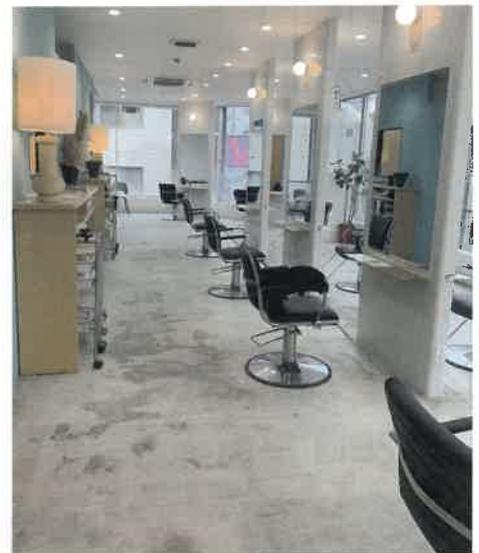
3階

「Ca1」(キャル)「美容室」

店長 田子 なつみ

かわいい空間の中で
Ca1にしかできない提案と
接客をこころがけています。

電話 082-249-3357



4階

「加圧パーソナルトレーニングジム BIPLUS BEAUTY」

「女性専用 加圧パーソナルトレーニングジム
BIPLUS BEAUTY」

店長 加藤 千晴

女性トレーナーがマンツーマンでトレーニング
をサポートいたします。

運動初心者の方も安心してお越しください。

電話 082-569-6911

詳しくは <https://www.biplus-beauty.jp>

